

2020CAカートレース特別規則書

2020キッズカート車両規則

2020キッズ・バンビーノ車両規則

2020コマー・バンビーノ車両規則

赤字下線は2019→2020の変更点または追加点



第1条

競技会の名称

SLカートミーティング CAカートレース

第2条

開催クラス（カッコ内は略称）

- 1) キッズ・バンビーノ (BAM)
- 2) キッズ・エキスパート (EXP)
- 3) コマー・バンビーノ
- 4) コマー60
- 5) **MICRO MAX**
- 6) YAMAHA (Y) カデット・オープン (OP)
- 7) **YAMAHA SSジュニア (SSジュニア)**
- 8) ADVAN Presents AKIGASE-SS (ASS)
- 9) KT Challenge (KT-C)
- 10) YAMAHA-SS (YSS)
- 11) YAMAHA-スーパーSS (SSS)

第3条

開催場所

有限会社サーキット秋ヶ瀬

〒338-0824 埼玉県さいたま市桜区上大久保1099

TEL:048-855-7862

FAX:048-854-8280

<http://www.akigase.co.jp>

E-mail info@akigase.co.jp

第4条

開催日程

↓スーパーTT対象クラス

開幕戦	2月	<u>23</u> 日	(日)	AKIGASE-SS
第2戦	<u>4</u> 月	<u>5</u> 日	(日)	キッズEXP
第3戦	5月	<u>31</u> 日	(日)	コマー60
第4戦	<u>7</u> 月	<u>5</u> 日	(日)	YカデットOP
第5戦	<u>8</u> 月	<u>9</u> 日	(日)	<u>YAMAHA SS ジュニア</u>
第6戦	<u>9</u> 月	<u>27</u> 日	(日)	<u>MICRO MAX</u>
最終戦	<u>12</u> 月	<u>13</u> 日	(日)	YAMAHA-SS

第5条 主催者 及び 大会事務局

第3条 開催場所と同じ

第6条 大会役員

公式プログラムに記す

第7条 参加定員

- 1) 参加受付台数は、各クラス最大42台までとし、それを超えた場合は大会事務局にて抽選とする。ただし、予選、決勝の最大グリッドは24台とする。参加申し込みに対する抗議は一切受け付けない。
- 2) AKIGASE-SSクラスにおいては安全性を考慮し、フルグリッドを20台とする。※ただし21台の場合はそのまま行う。
22台以上の場合はTT、予選を2クラス分けで行い予選各組上位10台ずつが決勝に進出できる。以下は予選落ちとしセカンドチャンスヒートは行わない。
- 3) KTチャレンジクラスは安全性を考慮し、フルグリッドを12台とする。13台以上の場合はTT上位半分がAクラス、下位半分がBクラスの2クラス分けで行う。
- 4) 各クラス参加台数が3台未満の場合は当該クラスを不成立とする場合がある。SL認定クラスは参加台数が3台未満の場合は不成立とする。
- 5) 各クラス少数の場合は混走とする場合がある

第8条

参加資格

※当該年度とは…2021年3月31日までになっている年齢及び学年

1) ドライバー

①キッズ・バンビーノ

②キッズ・EXP

当該年度3歳以上でルール・マナーを理解できる事
保護者のライセンス保持は問わないがそれ相当の知識・理解があること

③コマー・バンビーノ

当該年度3歳以上でルール・マナーを理解できる事
保護者のライセンス保持は問わないがそれ相当の知識・理解があること

④コマー60

当該年度5歳以上
保護者がSLライセンス保持者か、参加者自身がSLカデットライセンス保持者であること

⑤MICRO MAX

当該年度小学1年生～中学1年生
SL・SLカデットライセンスかJAFライセンス保持者
小学校1年生でMicroクラスに出場する場合は、推薦状が必要

⑥YAMAHAカデットOP

当該年度小学2年生以上 SLカデットライセンス保持者

⑦YAMAHA SSジュニア

当該年度小学4年生以上－中学生 SLライセンス保持者

⑧ADVAN Presents AKIGASE-SS

当該年度6年生以上 SLライセンス保持者
以下に該当する選手はAKIGASE-SSには出場はできない。

- 1) 2018年・2019年YAMAHA-SSシリーズランキング20位以内の選手
- 2) 2019年YAMAHA-SSクラスで入賞した選手
- 3) 2019年ジュニア選手権FP-Jr出場選手

⑨KT-Challenge(各ヒートで30秒を切ると降格/賞典外)

当該年度6年生以上
SLライセンス保持は問わないがそれ相当の知識・理解がある者

⑩YAMAHA-SS

当該年度6年生以上 SLライセンス保持者

⑪YAMAHA-スーパーSS

※SL全国大会ポイント集計希望者

当該年度30歳以上 SLライセンス保持者

2) ピットクルー：ドライバー1名につき2名まで

3) SL認定クラスは2020年有効なSLメンバーズカードと
2020SLメンバーズブック所持

4) YAMAHAカデットOP以上のクラスはSLスポーツ安全保険加入要

第9条

申し込み受付

1) 開催日1ヶ月前から5日前の火曜日16時まで。

現金書留郵便または直接、事務所受付窓口にて申し込み

2) 通常締め切り日時以降から開催日3日前の木曜日16時までも
受付可能とする。ただし延滞遅延手数料3000円が必要。

3) 参加料

①キッズ・バンビーノ 4000円 ピット1名付

②キッズ・EXP 8000円 ピット1名付

③コマー・バンビーノ 4000円 ピット1名付

④コマー60 11000円 ピット1名付

⑤MICRO MAX 13000円 ピット1名付

⑥YAMAHAカデットOP 13000円 ピット1名付

⑦YAMAHA SSジュニア 13000円 ピット1名付

⑧AKIGASE-SS 10000円 ※ピット登録別途

⑨KT-Challenge 8000円 ※ピット登録別途

⑩YAMAHA-SS 12000円 ※ピット登録別途

⑪YAMAHA-SUPER-SS 12000円 ※ピット登録別途

4) ピット追加 1000円 /人

第10条 受理と拒否

- 1) 参加申込者に対して、大会事務局より参加の受理または拒否が通知される。
- 2) 参加を拒否された申込者に対しては参加料は返還される。
- 3) 参加申込をした後に取りやめた者には参加料は返還されない。

第11条 シャーシ及びエンジン、タイヤの登録

レース当日の朝車検でシャーシ1台、エンジン1基（コマーは2基登録可）、タイヤ ドライorウェットどちらか1セット（もしくはドライ&ウェットの両方）の登録をしなければならない。
ヒート中に天候が変わり、登録していない方の（ドライ/ウェット）タイヤが必要になった場合は未登録状態での出走を認める。
ただし、そのヒート終了後の車検場にて封印登録を行わなければならない。

シャーシ：1台

エンジン：1基（コマー60のみ2基登録可）

タイヤ：ドライ1セット、ウェット1セット

ADVAN Presents AKIGASE-SSクラスは下記の銘柄指定とする

ドライ ヨコハマ SL07

レイン ヨコハマ SL03

KT-Challengeクラスは、タイヤ銘柄・コンパウンド共に自由

第12条 エンジン、キャブレター、インレットサイレンサー規定

- 1) キッズEXPはサーキット秋ヶ瀬キッズ特別ルールに準ずる。
- 2) コマー60は2012年東日本ジュニアグランドチャンピオン大会規定に準ずる。
- 3) 上記以外のクラスは2020SLカートミーティング規定に準ずる。
- 4) 上記以外のクラスは2020SLカートミーティング規定に準ずる。
- 5) KT-ChallengeクラスはYAMAHA KT100SD/SEC
重量160キロ以上はリストラクター制限なし
最低重量150キロ19.8Φリストラクター(TIA Jr用ジョイント)導入
最低重量140キロ19.8Φリストラクター・ヘッドガスケット3枚(ヘッド用)導入
最低重量130キロ14.5Φリストラクター(ヘッド用ジョイント)導入
- 6) キッズ・バンビーノ、コマー・バンビーノは
キッズ・バンビーノ/コマー・バンビーノ車両規則に準ずる

第13条 カート

- 1) 全クラスの車両は主催者の指定した計測器を主催者が指示した方法で取り付けなければならない。
MYLAPS社製パーソナルトランスポンダー(カート用)の使用も可。
- 2) ゼッケンプレートは、前年のCAカートレースシリーズにおいて各クラスシリーズランキング1位～5位までは順位と同一のゼッケン番号を指定する。
なお、該当者以外は上記の番号は使用することができず、この者が不在の場合、当該ゼッケン番号は空番号とする。
- 3) 前後、左右にゼッケンをつけなければならない。また、各自がこれを用意すること。
- 4) ゼッケンベース色と文字色は目立つ配色であれば自由とし指定しない。
- 5) ゼッケンは主催者が受付順に前詰めで決定する。
希望するゼッケンの指定がある場合は申請料5000円/年とする。
開幕前の希望ゼッケン重複は抽選で決定する。

第14条 公式車両検査

- 1) レース前には車両検査が行われる。この際、非合法な部分があり、それが技術委員に発見されなかったとしても承認を意味するものではなく、レース中あるいはレース後にそれに関する疑義が生じた場合ペナルティーの対象となる。
- 2) ドライバーは公式車検に立ち会わなければならない。
- 3) 定められた場所で計量が行われる。重量を満たすためにバラストを積む必要がある時は全て固形材料を用い、車体にボルト・ナットで必ず2箇所以上で取り付けなければならない。
- 4) 音量規定についてはS L規則に準ずる。

第15条 装備

- 1) ドライバーはCIKまたはJAF公認実績のあるレーシングスーツの着用が義務付けられる。
- 2) 小学生以下についてはネックガード、リブプロテクターを必備とする。いずれも競技中に外れた場合はオレンジボール旗が提示される。

第16条 タイムスケジュール

HPまたは大会会場掲示板、公式プログラムに記される。

第17条 公式練習 兼 タイムトライアル

- 1) タイムトライアルは以下のいずれかで行う。
 - ① 1周のタイム計測 ※14台以下は全員1周TT
※5分間の公式練習→公式練習タイムの遅い順で1周アタック
- ※参加台数が15台以上24台以下の場合は下記の手順とする。
- (Q1) 規定時間内のタイム計・・・下位11位以降順位確定
上位10台がQ2進出
- (Q2) 10位、9位・・・1位の順で1周計測・・・1～10位確定

なお、1周計測対象クラスが25台以上の場合は公式通知で発表する。

- ②規定時間内のタイム計測

- 2) 8分間のタイムトライアル計測をもって公式練習を兼用する。
※キッズ・バンビーノのみ4分間
ただし、1周タイムトライアル対象クラスは別途5分間の公式練習時間を設ける。
- 3) タイムトライアルに参加できない場合はタイムトライアル失格とし、予選ヒートは最後尾スタートとする。
- 4) CAカートレースにおいてはタイムトライアル中のピットインピットアウト（ピット作業）を可とする。ただし、その際の作業は車両規則を著しく逸脱する変更・交換はペナルティーの対象とする。
- 5) ベストラップが同タイムの場合はセカンドタイムを採用する。セカンドタイムも同じ場合はゼッケンの若番を前とする。
- 6) 当該クラスの出走台数が主催者が定めた最大台数を超えた場合グループ分けを行いグループに関わらずタイム順にグリッドを決定する。グループ分けは各選手による抽選で決定する。ただし、天候の急変により、一方のグループのトップタイムが他方のトップタイムの105%を超えた場合はAグループをイン側、Bグループをアウト側とする。

第18条 レース方法

予選1ヒート、決勝1ヒートとし、決勝結果により最終順位を決定
周回数はプログラムに記載する。

第19条 予選ヒート

- 1) 予選ヒートのスタートポジションはタイムトライアルの順位による。予選ヒートの結果に基づき決勝ヒートのスタートポジションを決定する。

- 2) 最大グリッドを超える台数の場合は、予選を2グループに分けて行う。予選Aグループをタイムトライアル奇数順位、Bグループを偶数順位とし、各グループ予選ヒートの結果上位9第を決勝進出とし、以下の者は予選落ちとなる。

第20条 セカンドチャンスヒート

予選を通過しなかった者は、予選ヒートの成績順にセカンドチャンスヒートに出場し、当該ヒートの上位6名が決勝ヒートに出場可能となる。※周回数は6周

第21条 決勝ヒート

グループ分けを行った場合はAグループをイン側、Bグループをアウト側とし、セカンドチャンスヒート選出者は、1次選出後方に着順でグリッドを決定する。

第22条

スタート

SLカートミーティング競技規則 第4章7-(5)は採用せず、ヒート途中でもピットエリアからスタートし、ピットロード出口からコースに合流できる。

ただし、本コース上のスタートとピットスタートが重なりそうな場合は本コース上での隊列の最後尾が1コーナーを越えるまではスタートを切ってはならない。

1) スタンディング (バンビーノ/キッズ・EXP)

信号機、または日章旗により合図をする。

参加者は手押しでコース上スターティンググリッドに整列、緑旗により1周のフォーメーションラップを行う。

フォーメーションラップ後、ポジション確認を行い赤旗を掲げたスタッフがコース外に退去後、信号機の赤点灯が消えてスタートの合図となる。

2) ローリングスタート (上記クラス以外)

スタートラインのブルーライン手前25m前のイエローラインまで加速を禁止する。違反した場合はペナルティーが課せられる。

隊列が整っていると競技長が判断された場合、信号機の赤点灯が消灯してスタートの合図となる。

イエローライン手前加速に問題があった場合、ミススタート旗が3コーナーポストにて掲示され競技長はフォーメーションラップを更に、1周続ける事を合図する為、赤点灯が継続される。

なおドライバーは隊列が乱れた場合は元のローリング時のポジションに戻るものとする。

ローリング中に自身のグリッドを維持するのはドライバーの責任であり、ローリング中に停止した場合は全車が通過するまで再スタートを試みてはならない。再スタート後、隊列の後ろにつき、自身のポジションに戻ってはならない。その場合白地に赤×印の表示板で示す場合がある。

ローリング中に各ドライバーは主催者が定める区間での追い越し割り込みを禁止し、該当者が失格とする。

第23条 完走

チェッカーフラッグに関係なく、規定周回の1/2以上を完了していること。

第24条 レースの中断

1) 事故、安全性の問題またはその他いかなる理由によっても、競技を中断する必要があるとみなされた場合、競技長またはその指示により赤旗が掲示される。

すべてのドライバーはただちにレースを中止し、オフィシャルから指示された場合はどの地点でも停止できる体制でスタートラインのあるコース左右両端、あるいはオフィシャルによって指定された場所まで徐行して停止すること。

2) 赤旗中断の場合、競技長の指示があるまではピットクルーはグリッドへの介入をしてはならない。

3) レースの中断の結果は下記の通り

- a) レース60%終了している場合、レースは成立したものとみなされ、赤旗掲示前の周回時点の、終了順序で結果が決定される。
- b) 60%以下の場合、競技長判断により残り周回数を設定し、赤旗掲示前の周回時点の順位で再スタートを行う。

第25条 車両保管及び再車検

1) レース終了後、全車車両保管及び再車検を行う。

2) 車両保管は所定の場所で行う。車両保管解除後は速やかに引き取らなければならない。

3) 技術委員長は、スタートした全ての車両に対して検査を行う権限を持ち、検査の指示があった場合はエントラント又はその代理人が責任をもって車両の分解及び組み立てを行わなければならない。また、関係者以外は検査に立ち会うことはできない。

4) 本事項の検査に応じない場合は失格とする。

第26条 ピット及びピットクルー

- 1) ピットロードは徐行しなければならない。
かつ必ず停車し、エンジンを停止しなければならない。
- 2) ピットエリア（スターティンググリッドも）に入れるのは大会に出場している選手と、ピット登録しているクルーのみとする。
- 3) ピットクルーによる規則違反で当該選手に対してペナルティーを与える場合がある。
- 4) ピットエリア、パドックエリアにおいて火気の使用は禁止される。
また、消火器を携帯することが望ましい。

第27条 順位の決定

- 1) チェッカーを受けた完走者。
- 2) チェッカーを受けない完走者。
- 3) 未完走者。

第28条 抗議

S L 規則に準ずる。

第29条 成績、賞典

- 1) 下記の台数に応じて賞典を制限する。
(キッズ・バンビーノ/コマー・バンビーノを除く)

～	5台	1位のみ	正賞・副賞
6	～ 7台	3位まで	正賞・副賞
8	～ 9台	4位まで	正賞・副賞
10	～ 11台	5位まで	正賞・副賞
12	～ 台	6位まで	正賞・副賞
- 2) 賞典の対象は決勝レースで完走したものに限る。
- 3) シリーズ対象
キッズ・EXP/コマー60/YAMAHAカデットOP/YAMAHA SSジュニア
ADVAN Presents AKIGASE-SS/YAMAHA-SS とする。

	通常時	最終戦1.5倍
1位	20 P	30 P
2位	15 P	23 P
3位	12 P	18 P
4位	10 P	15 P
5位	8 P	12 P
6位	6 P	9 P
7位	4 P	6 P
8位	3 P	5 P
9位	2 P	3 P
10位	1 P	2 P

- 4) シリーズ表彰対象クラスは80%以上レースが成立した場合とする。
賞典・副賞については平均台数などに応じて決定される。
- 5) シリーズ対象全クラスにおいて有効ポイント6戦とする。
同点の場合、上位入賞回数の多い者が上位とする。
- 6) 5項でも決定できない場合は最終戦の順位で決定する。
- 7) 6項でも決定できない場合はポイント獲得の早い順で決定する。

第30条 ウェイトハンデ制

ADVAN Presents AKIGASE-SSのみウェイトハンデを採用する。

- 1) 毎レース上位入賞者（1位から3位）に対し次回参加のレース時に最低重量に下記の特別ウェイトを加算することが認められます。
1位：5kg 2位：3kg 3位：1kg
- 2) 上記該当者は3位以内に入賞し続けている限り積算されます。
ただし10kgを上限とします。
- 3) ウェイトハンデ後の初めてのレースで着順が3位以内に入賞しなかった場合には、次大会でウェイトハンデは解消されます（但し最低重量を下回ってはならない）。
- 4) 連続して3位以内に入賞している者が3位以内に入賞しなかった場合には、次大会参加時は古い方から加算されたウェイト分のハンデ重量が軽減されます。

※ただし、最終戦はウェイトフリー（ハンデなし全車150Kg）とする。
また、当該年度70歳以上は最低重量を145Kgとする。（入賞によるウェイトハンデ制は他の年齢同等となります。）

第31条 自動計測装置（トランスポンダー）

- 1) 参加者は出走時までこの装置を取り付けなければならない。
取り付けを拒否した場合は出走を認めない。
キッズはロールバー左下、他の車両は左シートステーに取り付ける事。
計測器破損は、いかなる場合も本人負担で弁済する事。
MYLAPS社製パーソナルトランスポンダー(カート用)の使用も可。

第32条 コース復帰、リタイヤ

バンビーノとキッズEXP、コマー60に関してはコース員の補助を受けられるものとする。

上記クラス以外に関してはSL規則のTRYカデット、YカデットOPTIAジュニアの復帰・リタイヤ規定を採用する。

第33条 競技組織に関する規定

オーガナイザーは大会審査委員会の承認を得て、大会の一部あるいは全部を延期・中止または、取りやめる事ができる。イベントの全部を中止あるいは24時間以上延期する場合は、エントリー費は全額返金される。なお、エントラント及び参加者はこれによって生じる損害についてオーガナイザーに抗議する権限を有さない。

なお、オーガナイザーはイベント内容を変更する権限も合わせ持つものとする。これに対する抗議は認められない。

第34条 損害の補償

- 1) 参加者はレース場の施設、機材、器具に対する損害の補償の責任を負うものとする。
- 2) エントラント、ドライバー、ピットクルーはコース所有者、オーガナイザー、及び大会役員・大会スタッフに一切の損害賠償の責任を免除されていることを了承しなくてはならない。

第35条 オーガナイザーの権限

- 1) 申込受付に関して、その理由を示すことなく参加者（ドライバー）
・ピットクルーを選択することができる。
- 2) 大会すべてにおいて、音声・写真・映像等を放送や出版に関する権限を有し、この権限を第三者が使用することができる。

第36条 保険

[2020](#) SLメンバーズブック参照の事

第37条 その他

ステアリングとフロントパネルの高さ位置に関してのJAF規定はサーキット秋ヶ瀬におけるレースに関しては問わない事とする。

以上

キッズカート車両規則

- エンジン規定** 1) キッズ・エキスパート
EC04ER、EC04EA、YEC-04、EC03ERの使用を認める
※一切の加工、変更を禁止とする
※純正部品（キャブレターも）のみ使用を認める
※中国製のエンジンや49ccなどの排気量が純正と異なるものは使用不可
クランクはコンロッドが銀色タイプ（旧型）の使用禁止
※ロビン製・マキタ製のシリンダーを使用可とする。
- マフラー規定** 1) キッズ・エキスパート
メーカー純正角型限定とする
※大口径角型マフラーの使用を許可する
- プラグ規定** 1) キッズ・エキスパート
BPM7A または BPM8Yのいずれかを使用
- エアクリナー規定** 1) キッズ・エキスパート
ドライタイヤ装着時、内部のスポンジは必須とし、
レインタイヤ装着時のみ取り外しを認める。
- メインジェット規定** 1) キッズ・エキスパート
自由
- ガソリン規定** 1) キッズ・エキスパート
一般市販（ガソリンスタンドからの）に限る
- ギア比** 1) キッズ・エキスパート
9-96、10-96 または 7-75、8-75 に限定
（例：フロント8T リア75Tを意味します）

- シャーシ規定**
- 1) キッズ・エキスパート
アミゴン、YEC、レオンK30、K40
マックキッズ、PUFFO、トニーMICRO
※他の車両についてはお問い合わせ下さい
※フロントバンパー、サイドBOX、フロントゼッケンパネル必備

アルミ素材に限る（マグネシウム、コンポジット等 禁止）
※フロントハブ禁止
※メーカー純正のブレーキキャリパーの取り付け位置の変更は可。
ただし、強固に取り付けられていること。
※ディスクローターの変更を認める。

- タイヤ**
- 1) キッズ・エキスパート
ドライ：新型ブリヂストンYDS サイズ 4/10-5・5/11-5 に限る
（2019年第1戦のみ旧型YDSの使用を許可する）
レイン：ブリヂストンSL94
※ホイールサイズは自由
※エンジンを空ぶかししてタイヤを温める行為は禁止

- 最低重量**
- 1) キッズ・エキスパート
75kg

キッズ・バンビーノ車両規則

- 全規定**
- 普段の練習走行にて走行を許可されている車両、
又は公式車検にて安全が確保されていると認められた車両。
（車検長の判断による）

コマー・バンビーノ車両規則

- 全規定**
- 普段の練習走行にて走行を許可されている車両、
又は公式車検にて安全が確保されていると認められた車両。
（車検長の判断による）

マイクロマックス車両規則

CAカートレース ○メインジェット 105～

参加規定 ○スプロケット フロント15 リア77～80

○フロントスポイラーは従来品の使用も可とします。

ROTAX MAX CHALLENGEの

テクニカルレギュレーション2.3に記載されている、

【CIK フロントスポイラーブラケット必備と致します。】

というルールは秋ヶ瀬では適応しません。

CIKフロントスポイラーブラケットを装着している場合においても、

フェアリングペナルティの審議対象には一切いたしません。

審議対象には一切いたしません。